

2016年度(平成28年度)事業報告書

特定非営利活動法人アジア・アフリカと共に歩む会

2017年 5月 7日

さいたま市中央区大戸5丁目17番1号
特定非営利活動法人アジア・アフリカと共に歩む会
代表理事 久我 祐子
電話番号 048-832-8271

1 事業の成果

学校図書支援活動事業

ウグ郡ムタルメ・トゥートン・ウムズンベ学区内の43校(継続校42校、新規校1校)のうち、新規校1校を含む33校(プライマリースクール(幼稚園から中学1年)19校およびセカンダリースクール(中学2年から高校3年)14校)を主な支援対象校とし当事業を進めた。

引き続き、対象地域内での人口移動が激しく(立ち後れた山岳部から、インフラ整備が進みつつある沿岸部への移住)、それに伴う生徒数の変動、教師の異動、学校合併など落ち着かない教育環境の下、生徒たちに読書と自主学習を可能にする図書活動は、学力維持と向上に貢献した。

図書環境の改善

学校合併や生徒数急増により図書室のスペースを失った学校が数校あったが、そのうちの1校にはコンテナ図書室を設置し、他の学校には、教室内にコーナーライブラリを設けた。前年度日本から送られてきた10,539冊の本を対象校に一通り配布し、余った在庫は、州教育省に寄贈し他地域の学校に配布してもらった。11月に日本から16,729冊が到着し、第4四半期に分類、配布を開始した。また、現地語の本およびリクエストに沿った英語の本を現地で購入し、各対象校のレベルやニーズに合わせて配布した。

英語力の向上

学校図書の蔵書不足を補うために、対象校14校で、クリアケースに40冊～50冊の本を入れた「ブックボックス」の貸し出しを行った。1校に一定期間貸し出し、対象校間を巡回させた。このシステムにより生徒は数多くの本を手にとることができ、また、本を借りた生徒には返却時にブックレビュー(本の紹介文・感想文)の提出を義務づけたため、読み書き能力双方の向上に役立った。クラス単位で授業や宿題に活用した学校もあった。図書室の蔵書の充実やブックボックスなど生徒が英語の本を読む機会を持つことにより、英語力の向上が見られた。特に、高校生の基礎英語力の向上は著しく、2016年度高校卒

業試験（Matric）の英語試験における対象校12校の平均合格率は94%となり、前年度の平均合格率より50%以上も上昇した。

リソースセンター設置とパソコン技術指導

高校10校の図書室に、職業関連の書籍、ノートパソコンと印刷機を一台ずつ配備することで、図書室内でパソコンや本による情報収集や進路指導ができる環境を整えた。また、パソコン指導員が巡回訪問をし、司書教師と生徒たちに基本的操作法を指導した。事業終了時に技能試験を行い、総計321名の生徒が合格した（合格率68%）。指導を受けた図書委員会生徒たちは、図書活動の一環として、パソコンで貸し出し記録を作成し、また、他の生徒に操作法を教えた。

図書委員会活動の定着と発展

教師の異動や図書室のスペース不足などにより活動が停滞した学校もあったが、全体的には図書委員会活動は定着と発展をみせ、ジュニアプライマリ以外の多くの学校では、朝会や休み時間に全校生徒への本の読み聞かせや本の紹介を行うなど、図書委員会生徒主導で図書推進活動が行われた。本の貸し出しや整理整頓などの図書室管理・運営だけでなく、音読やスペリングコンテストなどのアクティビティも積極的に行われた。特に高校では、司書教師が不在や多忙であっても図書委員会生徒たちだけで活動を継続できるようになった。図書委員会の引き継ぎの重要性が認識され、毎年メンバーの中に年度末に卒業しない生徒を必ず含めること、司書教師をできるだけ複数にすること等、引き継ぎを意識したシステムが確立された。

学校およびコミュニティー菜園支援活動事業

有機農業塾での指導

7月に開始したJICA草の根技術支援事業「農業塾を拠点とした農村作り」（2016年7月～2019年4月）により、有機農業塾を設立し、そこを活動拠点に、コロコロ地域とトフェット地域の2地域で、生徒、卒業生、地域住民に各自のレベルとニーズに応じた指導を行った。

農業塾は、コロコロ地域内にある対象校ムタルメ小学校の敷地内に設立した。2つの教室を講義室とリソースセンターに改装し、実地用の畑と育苗所を設置した。今年度は、基礎コースを3回行い総計57名の地域住民が受講し、53名が修了した。塾の卒業生は、それぞれの家庭やグループ菜園で有機農業を始めることになっており、TAAA菜園指導員は、各家庭やグループを訪問し指導し続けた。年度末のモニタリング訪問の結果、33名が継続して家庭菜園を行い、そのうち3名が収穫物を販売し、5名が協同組合設立に向けての具体的な活動を開始していることを確認した。

地域住民への訪問指導

有機農業塾から離れた地域にあるトフェット地域では、菜園活動への参加希望者がグループを作り、指導員が各グループを訪問して実地指導を行った。指導員は、後日モニタリング訪問をして、参加者が知識と技術を習得して菜園活動を進めているかを確認した。今年度は123名が有機農業研修を受け、70%以上が継続して家庭・グループ菜園を行い、うち12名が地域内で販売を始めた。

対象地域内の学校生徒、保育園児への指導

長期的な農村作りの観点から、対象地域内の学校や保育園での菜園作り、および生徒たちの家庭菜園作りを支援した。保育園での畑作りは、収穫物をランチに利用し、園児たちの栄養改善になっている。園児たちは楽しそうに土いじりをしており、早い時期に畑仕事に慣れ親しむことの大切さを実感した。

トフェット地域では、先行の学校菜園事業から継続して家庭菜園を行っている生徒たちとその家族を指導した。コロコロ地域では、12月の夏季休暇中に有機農業塾で生徒対象研修会を行い、参加した10名の生徒は全員、研修終了後に家庭菜園を開始した。

スポーツ・課外活動振興事業

今年度は85個のサッカーボールを収集し南アに送り、対象校8校、および生徒が所属する地域サッカーチームに配布した。また、高校1校にユニフォーム一セットを寄贈した。2月に日本から高校生が現地をボランティア訪問した際、TAAAスタッフとその高校生でTAAAサッカーチームを結成し、対象校2校（小学校1校、高校1校）と交流試合を行い、大いに盛り上がった。このイベントを通して、当事業が今後、南アと日本の若者間の交流事業として発展していく可能性を確認した。また、普段は指導する側のTAAAスタッフたちが、試合が始まると本気で生徒たちと対抗し合い、試合後はお互いの健闘をたたえ合うなど、TAAAスタッフと生徒たちとの素顔の交流を深めた。TAAAスタッフ間の親睦や結束を強めることにも役立つことから、今後もこのような交流試合を続けたい。

勉強は遅れ気味だが「学校でサッカーができる」ことがモチベーションとなり、学校を辞めずに長距離を通学し続ける生徒がいることから、当事業は引き続きドロップアウト防止対策となった。

2 事業の実施に関する事項 (2016年4月1日 ~ 2017年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
学校図書支援活動事業	<p>基礎教育支援のための学校図書環境改善および読書推進活動</p> <p><u>日本</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の本の収集、梱包、発送作業。 ・対象地域の母語のラベルを貼った絵本作成。 ・算数セットの収集、梱包、発送作業 ・報告会、会報、ポスター配布等による当事業の広報活動 <p><u>南アフリカ</u></p> <p>【全校対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本から送った本の配布。現地での本の購入と配布。 ● 学校図書室や学級文庫の設置・拡充・環境改善支援。コンテナ図書室を寄贈、設置。 ● 各校図書室へのブックボックスの貸し出し ● 読み書き能力を高めるアクティビティ推進 ● 教師への図書室にある英語教材の活用法指導 ● 図書委員会生徒たちの図書運営スキル強化、図書推進活動への支援。 <p>【プライマリースクール対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書室のない学校1校にコンテナ図書室を設置した。 ● TAAA図書スタッフによる生徒への図書室の使い方指導、本の読み聞かせ、図書委員会生徒へのサポートとアドバイス。 <p>【セカンダリースクール対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書委員会生徒へのサポート、図書室利用の促進。 ● 10校の図書室をリソースセンターとし、IT教育とキャリアガイダンスが行える環境を整える。 ● TAAAパソコン指導員は上記10校で生徒と司書教師にPC操作を指導し、基礎的操作技術の習得を確認する。 	月～日	日本 南アフリカ共和国 ウグ郡ムタルメ・トットン・ウムズンベ学区	南ア側 4人 日本側 15人	小・中・高校43校 その他 教師 600人 生徒 20,000人	7,108

<p>学校およびコミュニティ菜園支援活動事業</p>	<p>学校菜園およびコミュニティ菜園における地域環境保全型農業促進指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有機農業塾の設立。農具、備品、教材の配備 ●有機農業基礎トレーニングコースを3回実施 ●地域住民への家庭菜園作りの指導、研修会、モニタリング ●保育園菜園の指導、モニタリング ●学校菜園活動の指導とモニタリング ●先行事業で家庭菜園を始めた生徒と家族への指導 ●有機農業塾で休暇中の生徒研修会開催 	<p>月～金</p>	<p>南アフリカ共和国ウグ郡ムタルメ・トゥト・ウムズンベ学区</p>	<p>南ア側 5人 日本側 3人</p>	<p>コロコロ地域 中央部家庭約100軒 地域周辺学校7校の生徒家庭 地域内保育園 3園</p> <p>トフェット地域 家庭約100軒 地域周辺学校7校の生徒家庭 地域内保育園2園</p>		<p>9,160</p>
<p>スポーツ・課外活動振興事業</p>	<p>日本 サッカーボール収集、梱包、発送作業 当事業の広報活動</p> <p>南アフリカ共和国</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本から送られてきたサッカーボールの配布 ●サッカー交流試合 	<p>月～日</p>	<p>日本 南アフリカ共和国ウグ郡ムタルメ・トゥト・ウムズンベ学区</p>	<p>南ア側 3人 日本側 3人</p>	<p>小・中・高40校 その他</p>	<p>生徒 8,000人</p>	<p>104</p>
<p>合計</p>							<p>16,372</p>